

## 2020年度の開始にあたって

健康マネジメント研究科委員長 武林亨

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、在校生の皆さんは、一つ上の学年となりました。お帰りなさい。

政府による首都圏への緊急事態宣言が発出されました。本来、新入生、在校生の皆さんとガイダンスで顔を合わせるはずのところですが、こうした形でメッセージを届けることになりました。しかし、皆さんを迎える嬉しくも厳かな気持ちはまったく変わりありません。

新型コロナウイルス感染症は、思ったよりも手強い相手です。医療への大きな負担だけではなく、このような社会に大きな影響が起こることは、これまでの私たちの経験には無かったものと言わざるを得ません。学校が休校になり、仕事が在宅勤務になり、移動が制限される。ほんの数ヶ月前までは、想像もしなかった現実に直面しているのです。こうしたときには、ひとり一人がこのウイルスとの向き合い方を身につけ、そして社会全体で結束していく必要があります。

とりわけ、感染爆発が起こると、社会的に弱い立場の人たち、社会に脆弱な人々への影響が大きくなると見られます。こうしたことを未然に防ぐためにも、われわれは連帯していかなくてはなりません。

看護、医療マネジメント、スポーツマネジメント、公衆衛生の高度専門家となる皆さんは、こうした連帯の中心的な存在であって欲しいと思います。自分を守る行動が、家族を、そして社会を守るということを、皆さんからも発信して下さい。

当面の間、遠隔での学びが続くことになりますが、健康マネジメント研究科で学びを有意義なものにするために、皆さんに、二つの提案があります。

1 つ目は学びの場への積極的な参加です。遠隔授業でスタートしますが、現在、研究科を挙げて、そして大学を挙げて、むしろ遠隔オンラインならではの良い授業が届けられるよう、教員の皆さんは、懸命に準備をしています。遠隔の形式でスタートする授業であっても、決して受け身になることなく、より良い遠隔授業になるようなフィードバックや提案を、皆さんからも積極的にしていただきたいのです。慶應義塾には、「半学半教」、教員と学生も半分は教え、半分は学び続ける存在である、という大切な精神が受け継がれています。そのことを大切にしたい、健康マネジメント研究科ならではの学びの場を作っていきたいと思います。皆さんからの積極的な参加を期待しています。

もうひとつは、学生同士で良い結びつき・絆を育ててほしいということです。当面は、同級生、他の専攻の学生たちと一緒に議論することはできません。しかし、皆さんが、今回、目の前で起こっていることを受け止め、これから始まる授業の中で消化していけば、きっとひとり一人の中に、自分は何をすべきか、自分には何ができるかが浮かんでくると思います。そのこと自体が、新型コロナウイルス感染症の先にある社会を再生していく中で、とても大切な希望となります。大学はその希望を繋げる場でありたいと願っています。だからこそ、今から、たとえ直接会うことはできないとしても、学生同士の絆を作っていって欲しいと願っています。

これからも、研究科を挙げて、最善の努力を続け、良い学びの場を作っていきます。みなさんも、まず新型コロナウイルスの感染を抑え込む行動をしっかりと取り、そして、一緒に良い学びの場を作っていきましょう。

2020年4月7日